

もくじ

- ・ むしめずる ひめぎみ

むしめずる

ひめぎみ

げんさく： にほんのむかしばなし

イラスト： すずどん

へんしゅう： イエローボードプロジェクト

むかし、きょうのみやこの、
とある きぞくの おやしきに、
ひとりの ひめぎみが いました。

この ひめぎみは、とても かわりものの
むすめとして、ゆうめいでした。
というのも、この ひめぎみは『むし』が
だいすきだったのです。

ひめぎみは じぶんのへやで、
そとで みつけてきた さまざまな むしを、
かごに いれて かっていました。

おやしきで はたらく じょかんたちは、
みんな むしが にがてで、
ひめぎみのへやに はいるときは、
いつも むしに おびえていました。



あるひのこと、ひめぎみの りょうしんが、
とてもこまった かおで いました。

「おまえは、ちょうちょのように
きれいなものより、あおむしのよう、
きみのわるいものばかりに
むちゅうになっている。いったい なぜだ」

ちちおやの ことばに、ひめぎみは
こう こたえました。

「おとうさま、せけんでは、うわべの
うつくしいものだけが このまれるけれども、
わたくしは うわべよりも、
そのものの なかみの うつくしさのほうが、
たいせつだと おもっております」

ひめぎみは じぶんのへやから、
むしかごを ひとつ もってきて、
りょうしんのまえに さしだしました。

